

「日本河川・流域再生ネットワーク（JRRN）」は、河川再生について共に考え、次の行動へ後押しする未来志向の情報を交換・共有することを通じ、各地域に相応しい河川再生の技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目的に活動する団体です。またアジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN)の日本窓口として、日本の優れた知見をアジアに向け発信し、海外の素晴らしい取組みを国内に還元する役割を担います。(Since 2006)

目次	Pages
➤ JRRN 事務局からのお知らせ	1
➤ 「多自然川づくりサポートセンター」からのお知らせ	5
➤ JRRN 会員・ARRN 関係者からのお知らせ	7
➤ JRRN 会員募集中	8

## JRRN 事務局からのお知らせ (1) JRRN Activity Report

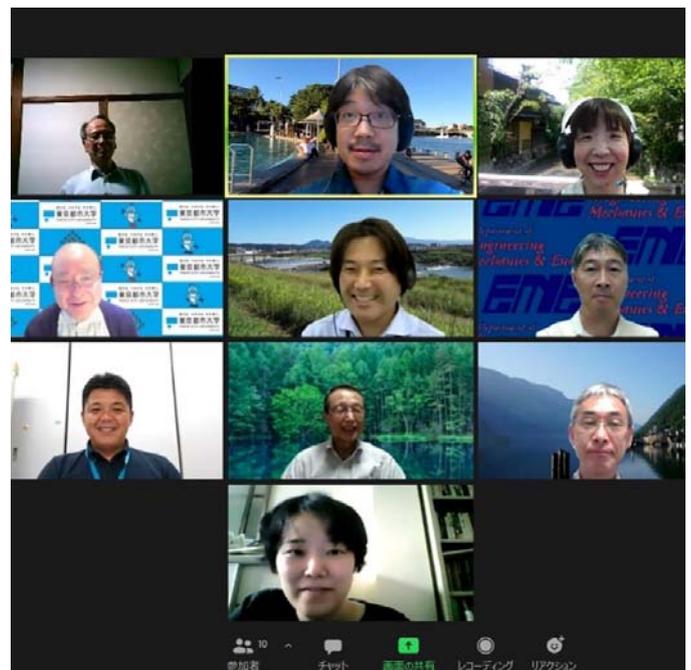
### JRRN 運営報告 – 「2021 年度 第 1 回 JRRN 理事会」開催報告

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)の『2021 年度 第 1 回理事会』が開催され、全議案が承認されました。また、全理事の再任も決議されました。

JRRN 設立から 15 年目となる本年の理事会では、国内向けの情報発信について、SNSをはじめ様々な情報媒体が登場し、利用者の川づくりに関わる情報へのニーズやアクセス方法も変化する中で、それに応える情報発信のあり方へと改めていく必要性などについて議論されました。

また、ARRN を中心とする海外活動についても、設立当初からの経緯を振り返り、新型コロナ感染拡大で一時的に国際活動が停滞する中においても、これまで培ってきた信頼関係に基づく参加関係者間にメリットのある技術交流をしていくことの必要性について議論をしました。

なお、昨年度と同様に、本年の理事会も、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として web 会議を利用して開催し、全 JRRN 理事、JRRN 事務局メンバー及び(公財)リバーフロント研究所代表理事が参加しました。



オンライン理事会の様子

各議案資料（2020 年度事業報告及び収支決算、2021 年度事業計画及び収支予算、事務局の組織及び運営）のダウンロードは下記 URL をご参照ください。

<http://jp.a-rr.net/jp/news/info/1209.html>

また、過去の JRRN 理事会の開催報告は以下よりご覧頂けます。

<http://jp.a-rr.net/jp/news/info/category/jrrn-boardmeeting>

- 1.開催日時：令和 3 年 6 月 17 (木) 16:00-17:30
- 2.開催場所：WEB 会議方式で開催
- 3.理事総数：4 名
- 4.議 案：
  - ・議案第 1 号 2020 年度 事業報告及び収支決算
  - ・議案第 2 号 2021 年度 事業計画及び収支予算
  - ・議案第 3 号 事務局の組織及び運営

(JRRN 事務局・和田彰)

## JRRN 事務局からのお知らせ (2) JRRN Activity Report

## JRRN 運営報告 – 「JRRN 事業報告 2020(JRRN Annual Report 2020)」発行

JRRN 理事会における令和 2 年度事業報告の承認を受け、JRRN の昨年度 (2020 年 4 月～2021 年 3 月) の活動を取りまとめた「令和 2 年度事業報告書 (JRRN Annual Report 2020)」が完成し公開致しました。(全 4 ページ)

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染拡大により国際的な技術交流は実施できませんでしたが、国内において感染防止対策に努めながら、川づくりに関わる情報共有基盤の整備、及び川づくりの担い手の育成に向けた普及・啓発に取り組みました。また、会員に関しては、団体会員は 61 団体、個人会員は 816 人となりました。

今年度も川づくりの担い手に役立つ価値を生み出し普及して参りますので、引き続きご支援・ご協力をお願いいたします。

※事業報告書 (年次報告) のダウンロードはこちらから

<http://jp.a-rr.net/jp/activity/annual/86>



(JRRN 事務局・和田彰)

## JRRN 事務局からのお知らせ (3) JRRN Activity Report

## JRRN 協働活動 – あらぶる雨・めぐみの雨「雨展」が東北 4 会場で開催されます

JRRN も企画運営に協力する『あらぶる雨・めぐみの雨「雨展」』が、東北地方整備局主催、水の巡回展ネットワーク企画制作で東北地方の 4 会場で開催されます。

今年度の東北シリーズ開催の初回となる「山形県生涯学習センター・遊学館」の設営作業に参加してまいりました。

当日は、国土交通省東北地方整備局河川部河川環境課や山形河川国道事務所の職員の方々を中心に、水の巡回展ネットワークメンバーと共に展示物の組み立て作業を行い、水防災意識社会構築に向けた取組の一環としてとても熱心に協力いただきました。



山形県生涯学習センター・遊学館での設営風景

身近な存在の「雨」ですが、時には猛威を振るい、私たちの暮らしに大きなダメージを与え、一方では、私たちの暮らしには欠かせない水を供給し、日々の生活を支えています。本巡回展示は、「雨」に関する様々な展示物を通じて、水災害に関する知識、また水環境保全の大切さを学ぶことを目的に開催するもので、たくさんの皆様の展示会場へのご訪問をお待ちしております。

雨展の概要は次ページの案内チラシをご覧ください。

## 【東北での展示期間 及び 展示会場】

- ①山形県生涯学習センター・遊学館：  
令和 3 年 7 月 2 日 (金) ～ 7 月 17 日 (土)
- ②北上川学習交流館あいぽーと：  
令和 3 年 7 月 27 日 (火) ～ 8 月 26 日 (木)
- ③摺上川ダム管理所インフォメーションセンター：  
令和 3 年 9 月 1 日 (水) ～ 9 月 14 日 (火)
- ④七ヶ宿ダム管理所 1 階：  
令和 3 年 9 月 22 日 (水) ～ 10 月 6 日 (火)

※東北地方整備局の記者発表はこちら

[http://www.thr.mlit.go.jp/Bumon/kisya/kisyah/images/87367\\_1.pdf](http://www.thr.mlit.go.jp/Bumon/kisya/kisyah/images/87367_1.pdf)

(JRRN 事務局・和田彰)

あらぶる雨・めぐみの雨

# 雨 AME・TEN 展



① 山形県生涯学習センター 遊学館 【開催期間】 2021年 7月2日(金)～7月17日(土)

【開催時間】 9:00～17:00 【休館日】 第1月曜日

② 北上川学習交流館 あいぼーと 【開催期間】 7月27日(火)～8月26日(木)

【開催時間】 9:00～17:00 【休館日】 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日が休館日)

③ 摺上川ダム管理所 インフォメーションセンター 【開催期間】 9月1日(水)～9月14日(火)

【開催時間】 9:00～16:30

④ セヶ宿ダム管理所 1階 【開催期間】 9月22日(水)～10月6日(水)

【開催時間】 9:00～17:00 【休館日】 土日祝日

【主催】 東北地方整備局 【企画制作】 水の巡回展ネットワーク 【協力】 NPO 法人 気象キャスターネットワーク、ファンザミュージス  
東京学芸大学環境教育研究センター、東京学芸大学グラフィックデザイン研究室、  
日本河川・流域再生ネットワーク、九州産業大学芸術学部メディアラボ 331  
【展示内容】 インタラクティブ映像、雨量計、標本ジオラマ、防災グッズ、記録映像等



国土交通省



あらぶる雨・めぐみの雨



アマノフウエ



ツチノホーン



アマブッコ

# 雨展

AME·TEN



アラドラゴ



メグドラゴ



キノハナ



ヒビコ

●雨と聞くとみなさんはどんなことを思い浮かべますか。 ●ザーザー、冷たいなど、耳や肌から伝わる感覚でしょうか。洪水によって被害を受けたこと、雨のおかげで水不足が解消したことを思い出す人もいるかもしれません。住んでいる地域、かかわっている仕事によっても想像することは人それぞれ異なるようです。 ●雨は身近な存在ですが、とても大きな力を持っています。時には猛威を振り、私たちの暮らしに大きなダメージを与えます。一方、私たちの暮らしに欠かせない水を供給し、日々の生活を支えてくれています。 ●この企画展「雨展～あらぶる雨・めぐみの雨～」では、これまで博物館の企画展などでもとりあげられることの少なかった「雨」について、「あらぶる雨」と「めぐみの雨」に注目し、新たな工夫をとり入れた方法で紹介します。 ●ナビゲータは、カミナリとともに天空から舞い降りてきたアラドラゴ、メグドラゴほか、7人の雨の神様たち。それぞれがもつ得意な技や表現で、雨の特性、雨の科学、雨と暮らし、雨と防災など、様々なトピックをとりあげて見せてくれます。 ●みなさんがふだん見ているのとは違った視点から、雨の不思議に迫ります。

### 新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けて皆さまにお願いしたいこと



- ① 人との間隔はできるだけ2m(最低1m)あける
- ② マスクの着用
- ③ 消毒液での手指の消毒
- ④ 大声での会話を行わない
- ⑤ 発熱や咳・咽頭痛などの症状がある場合は入場をお控えください

### 水の巡回展ネットワーク



※本企画展は、新しいアイデアで出来上がった展示で構成されています。まだ試験的なものもありますが、巡回を通じて、より良い展示へとレベルアップしたいと考えています。

■この展示の企画制作：この展示は、大学の学生や教員、気象キャスター、展示プランナーやデザイナー、国土交通省の職員等の有志のメンバーからなる「水の巡回展ネットワーク(JAWANET)」によって企画・開発されました。水の巡回展ネットワークでは、水に関する様々なテーマの展示ユニットを開発し、それらを各地の展示館に巡回しています。巡回の機会を利用して調査を行いながら、多くの場所で活用できる、汎用性の高い、楽しく学べる展示を創造していくことを目的に活動しています。



① 山形県生涯学習センター 遊学館  
【休館日】第1月曜日  
【開催時間】9時～17時  
【住所】山形県山形市緑町1丁目2-36  
【電話】023-625-6411



② 北上川学習交流館 あいぼーと  
【休館日】毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日が休館日)  
【開催時間】9時～17時  
【住所】岩手県一関市狐禅寺字石ノ瀬155-81  
【電話】023-625-6411



③ 摺上川ダム管理所 インフォメーションセンター  
【開催時間】9時～16時30分  
【住所】福島県福島市飯坂町茂庭字蟬野山25  
【電話】024-596-1275



④ 七ヶ宿ダム管理所 1階  
【休館日】土日祝日  
【開催時間】9時～17時  
【住所】宮城県刈田郡七ヶ宿町字切通52-40  
【電話】0224-37-2122

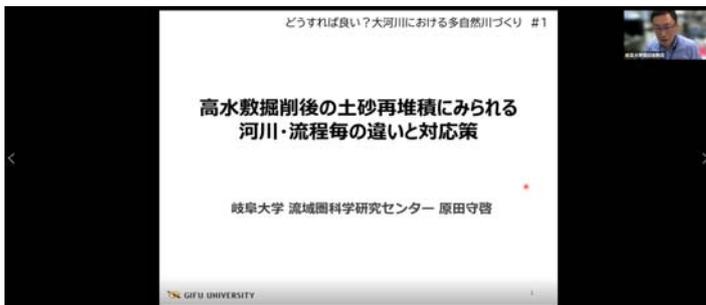
「多自然川づくりサポートセンター」からのお知らせ *Nature-oriented River Management Support Center*

※『多自然川づくりサポートセンター』は、多自然川づくりについての技術的な支援、市民との連携の強化、気軽な相談窓口、情報の共有等を担い、(公財)リバーフロント研究所が事務局を務めています。2019年度より、JRRNは多自然川づくりサポートセンターと連携して川づくりの推進に取り組んでおります。

多自然川づくりサポートセンター事務局

## 「大河川における多自然川づくり～Q&A形式で理解を深める～」 第1回目のウェブセミナーを開催しました！

### ■第1回 大河川における多自然川づくりウェブセミナー



「第1回 大河川における多自然川づくりセミナー」を令和3年6月17日(木)に開催しました。

第1回目は、このセミナーの基となった「大河川における多自然川づくり～Q&A形式で理解を深める～」について、土木研究所 中村圭吾上席研究員から講演して頂くとともに、各地でニーズの高い河道内掘削の考え方について、岐阜大学 原田守啓准教授から、ご講演頂きました。

参加者は当初予定の100名を大きく上回り、約350名の方々にご参加いただきました。参加者の皆様有難うございました。

#### ＜第1回 ウェブセミナー開催概要＞

- 開催日時：令和3年6月17日 16:00～17:30
- 開催形式：ZOOM ウェビナー
- プログラム：

##### ①「大河川 Q&A とは」

講演者：国立研究開発法人 土木研究所  
水環境研究グループ 河川生態チーム  
上席研究員 中村 圭吾

##### ②「高水敷掘削後の土砂再堆積にみられる河川・ 流程毎の違いと対応策」

講演者：岐阜大学 流域圏科学研究センター  
准教授 原田 守啓

＜次回開催予定、過去の講演動画等の紹介＞

#### ●次回開催予定、バックナンバー

次回は8月開催予定で調整中です。

また、過去の講演動画はリバーフロント研究所 HP にて公開中です。

次回の開催案内、過去の講演動画等の詳細は以下の URL をご覧ください。

<http://www.rfc.or.jp/daikasen.html>

#### ●スケジュール案

令和3年度6月からで、土木建設業における繁忙期(1～3月)を除く期間において、隔月実施する予定です。

※解説する Q&A は、解説者・開催状況を考慮して変更予定。その他の Q は 2023 年以降を予定しています。

年	月	回数	Q&A番号	プログラム
2021	6	第1回	Q5-2	大河川Q&Aとは 高水敷掘削における多自然川づくりのポイント
	7			
	8	第2回	(Q6-1)	(人が利用する高水敷整備について)
	9			
	10	第3回	(Q8-1)	(河道内樹木の再繁茂対策について)
	11			
	12	第4回	(Q2-1)	(治水事業における多自然川づくりの留意ポイント)
	2022	1～4		
	5	第5回	(Q1-1)	(多自然川づくりの基本)
	6			
	7	第6回	(Q4-1)	(水辺の国勢調査等の活用方法について)
	8			
	9	第7回	(Q4-2)	(河川環境管理シートの活用方法について)
	10			
	11	第8回	(Q5-1)	(護岸等を設置する際の工夫事例)
	12			

#### ■大河川における多自然川づくり-Q&A形式で理解を深める

本書では、大河川における多自然川づくりを実践するため、現場で直面する課題を Question とし、これに Answer とし、答える形式で、これまで日本が蓄積してきた知見が分かり易く紹介されています。

※本 Q&A のダウンロードはこちらから

<http://jp.a-rr.net/jp/resources/guideline/276.html>

## 『河川事業における生態系保全に関する評価の手引き（実務者向け）（案）』

～生態系ネットワーク形成に向けて～ 【令和3年6月版】が公開されました！

本手引きは、河川管理者が河川を基軸とした生態系ネットワークの構築を行う際に、計画・整備・維持管理段階における生態系保全に関する評価手法の適切な選択方法を示し、効果的・効率的な生態系ネットワークの形成を支援することを目的にとりまとめられました。

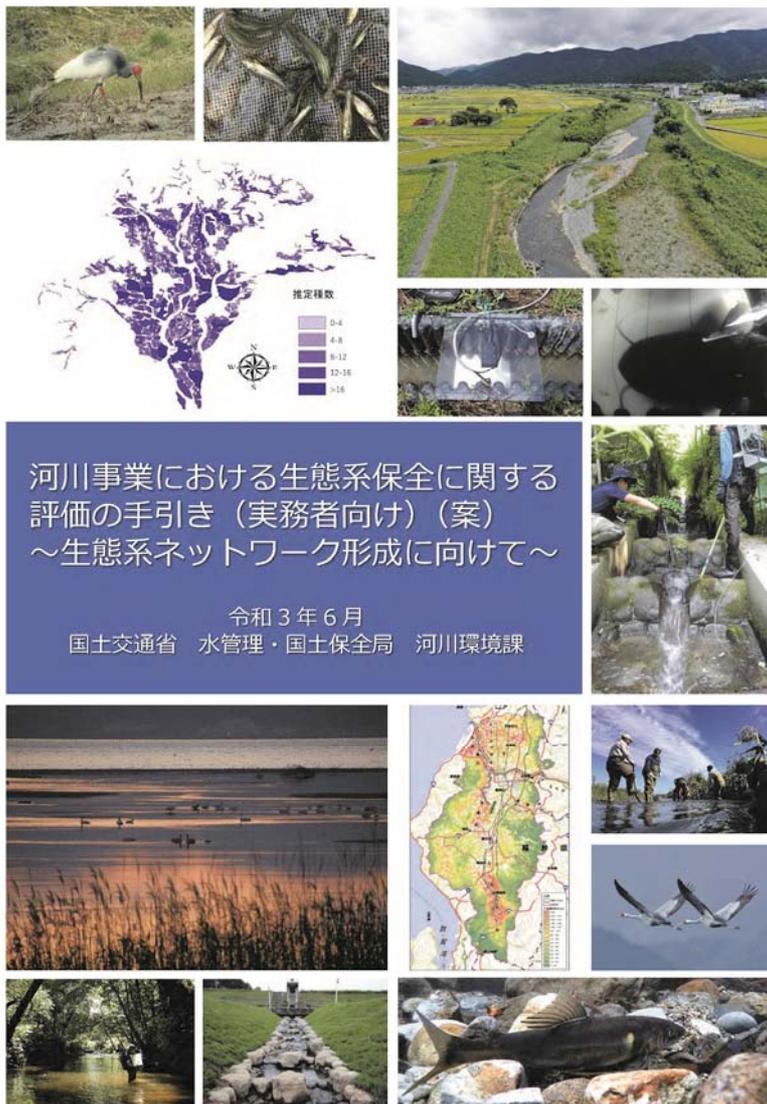
先行してとりまとめられた「河川を基軸とした生態系ネットワーク形成のための手引き（河川管理者向け）（令和2年2月）」が、事業者としての河川管理者を対象として、生態系ネットワーク形成のための事業の進め方や地域連携の仕方などを解説したのに対して、本手引きは、技術としての生態系ネットワークの評価方法に着目し、コンサルタントやより深く学びたい河川管理者を主な対象として、実務に即した具体的な解説や事例が紹介されています。

## &lt;目次&gt;

1. 河川を基軸とした生態系ネットワークについて
2. 評価の基本的な考え方
  - 2.1 事業への評価の導入
  - 2.2 生態系ネットワークの評価手法
  - 2.3 生態系ネットワーク形成の評価事例
3. 河川を基軸とした生態系ネットワークをより詳しく学ぶ
  - 3.1 生態系ネットワークの種類
  - 3.2 生態系ネットワークの重要性
  - 3.3 河川を基軸とした生態系ネットワークの現状と課題

※本手引きのダウンロードはこちらから：

<http://www.rfc.or.jp/result4.html>



河川事業における生態系保全に関する  
評価の手引き（実務者向け）（案）  
～生態系ネットワーク形成に向けて～

令和3年6月  
国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課

JRRN 会員・ARRN 関係者からのお知らせ (2021年6月末まで提供分) Information from member

【JRRN 会員からの提供情報】

■ 新刊案内「ダム建設と地域住民補償 文献にみる水没者との交渉誌」

古賀河川図書館館長・古賀邦雄さん (JRRN 会員) の著作『ダム建設と地域住民補償 文献にみる水没者との交渉誌』が6月23日に刊行されました。

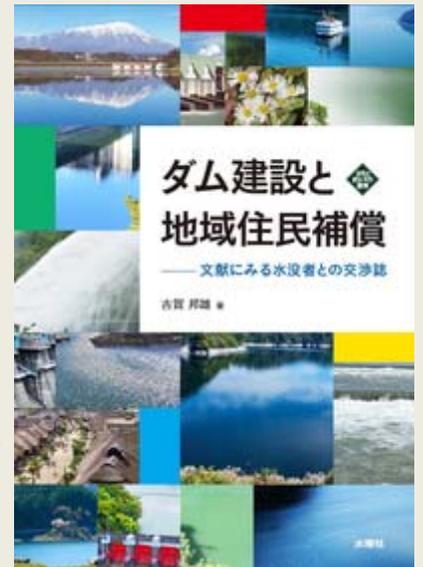
- 書名：『ダム建設と地域住民補償 文献にみる水没者との交渉誌』
- 著者：古賀邦雄
- 体裁：A5判、320ページ
- 定価：3,520円(税込) ISBN：9784880655062
- 出版：水曜社

【書籍概要】

本書は33年にわたり、ダム用地交渉の最前線で業務を担当した著者が、自身の経験と河川・湖沼に関する膨大な文献から、用地補償業務の事例と湖底に沈んだ地域住民の心を貴重な図版・資料を交えながら描く最新刊。

◆詳細は以下参照

<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/3894.html>



【JRRN 会員からの提供情報】

■ 水都東京・未来会議 第5回リレーセミナー～畔柳昭雄先生：親水まちづくり (7/11 開催)



「水都東京・未来会議」事務局より第5回リレーセミナーのご案内です。

- 日時：2021年7月11日(日) 15:00~17:00
- 場所：オンライン
- ◆詳細は以下参照

<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/3898.html>

【JRRN 会員からの提供情報】

■ 豊田市矢作川研究所が取り組む「ふるさとの川づくり事業」成果紹介動画案内

住民が親しめる自然豊かな川を目指した「ふるさとの川づくり事業」に取り組む豊田市矢作川研究所より、これまでの事業を振り返り、今後の具体的な川づくりについて考えるための事業成果紹介動画のご案内を頂きました。



◆詳細は以下参照

<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/3877.html>

【JRRN 会員からの提供情報】

■ 「SAITAMA リバーサポーターズプロジェクト」案内

埼玉の豊かな川を育む自発的な活動が持続的に行われるよう、県民・団体・企業の取組を県が支援していくもので、団体サポーター (川の国応援団) に加え、個人サポーターや企業サポーターにより、川の保護や川との共生に向けた活動を活性化し、SDGsの実現を目指す取組です。



◆詳細は以下参照

<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/3886.html>

【海外からの提供情報】

■ 「RRC (英国河川再生センター) 最新会報」紹介

RRC (英国河川再生センター) 最新会報 (2021年6月号) が事務局より届きました。

本号では、スコットランドにおける河川再生事業の紹介、2020年英国河川賞のリーチスケール部門の受賞事例紹介、また英国の河川再生に関わる行事や職員募集案内を掲載しています。



◆詳細は以下参照

<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/3905.html>

## JRRN 会員募集中 JRRN membership

## ■ JRRN の登録資格 (団体・個人)

JRRN への登録は、団体・個人を問わず**無料**です。市民団体、行政機関、民間企業、研究者、個人等、所属団体や機関を問わず、河川再生に携わる皆様のご参加を歓迎いたします。

## ■ 会員の特典

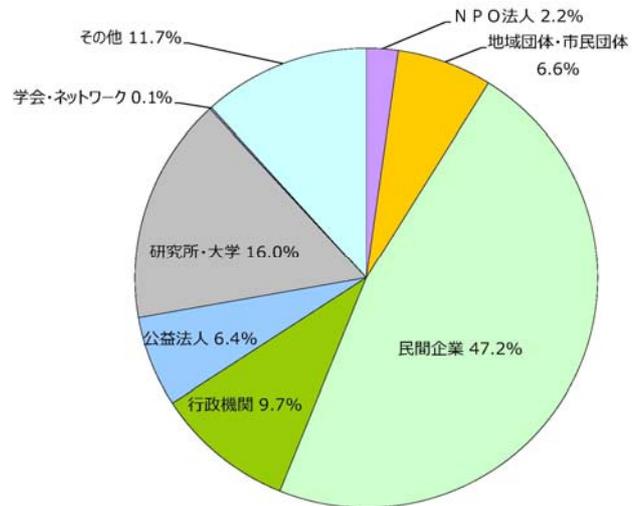
会員登録をされた方々へ様々な「会員特典」をご用意しています。

- (1) 国内外の河川再生に関するニュースを集約した「JRRN ニュースメール」が週1回メール配信されます。
- (2) 国内外のセミナー、ワークショップ等の開催情報が入手できます。また JRRN 主催行事に優先的に参加することが出来ます。
- (3) 必要に応じた国内外の河川再生事例等の情報収集の支援を受けられます。
- (4) JRRN を通じて、河川再生に関する技術情報やイベント開催案内等を国内外に発信できます。
- (5) 韓国、中国をはじめとする、ARRN 加盟国内の河川再生関連ネットワークと人的交流の橋渡しの支援を受けられます。

## ■ 会員登録方法

詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.a-rr.net/jp/member/registration.html>



2021年6月30日時点の個人会員の所属構成  
(個人会員数：822名、団体会員数：61団体)  
※6月の新規入会数：個人会員2、団体会員0

JRRN 会員特典一覧表 (団体会員・個人会員)

提供サービス	JRRN 個人会員	JRRN 団体会員	非会員 (一般)
1 ホームページへのアクセス及び記事へのコメント入力 ※1	◎	◎	◎
2 ホームページ「イベント情報」欄でのイベント掲載 ※2	◎	◎	◎
3 ニュースメール(週1回)の配信 ※3	◎	◎	×
4 Newsletter(毎月)及び年次報告書(年1回)等の発刊案内メールの配信 ※3	◎	◎	×
5 JRRN/ARRN主催行事の優先案内・優先参加 ※4	◎	◎	×
6 国内外の河川再生関連情報・技術収集や専門家・組織紹介の支援 ※5	◎	◎	×
7 ホームページ「会員からのお知らせ」内及びニュースメール「会員からのご案内」欄で団体が関わる行事・出版物・製品等の案内の掲載 ※6	△※7	◎	×
8 ホームページ「会員登録状況」「国内団体」内及び年次報告書内で団体名の掲載	×	◎	×
9 ARRN活動に関連する英語ニュース(ARRN Newsletter等)の不定期配信 ※8	×	◎	×
10 JRRN及びARRNが保有する国内外専門家・団体等との連携等の支援 ※9	×	◎	×

会員特典詳細はウェブサイト参照：<http://www.a-rr.net/jp/member/benefit.html>

【お気軽にお問い合わせください】

## 日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局



〒104-0033 東京都中央区新川1丁目17番24号 NMF 茅場町ビル7階 (公財) リバーフロント研究所 内

Tel:03-6228-3865 Fax:03-3523-0640 E-mail: [info@a-rr.net](mailto:info@a-rr.net)

URL: <http://www.a-rr.net/jp/> Facebook: <https://www.facebook.com/JapanRRN>